

第2話

知ってほしい

くるめ支援合型プラン

令和8年度を始期とする、第2期プランを現在策定中です。プランは、地域住民や様々な団体の皆さんと一緒に策定し、推進していくものです。

策定にあたって、校区支え合い推進会議と共催で実施したワークショップの様子をお届けします。「**地域を語る**」**地域にかたる**※と題し、各圏域で語り合いました♪

※「かたる」とは、「加わる、参加する」という方言

語る① 私の地域はこんな地域(カードを使ってゲーム感覚で)

語る② こんな地域をめざしたい(理想の地域像)

語る③ めざしたい地域のために、やっていること、できそうなこと、やってみたいこと



ワークショップの様子



中央圏域(篠山校区)



- ★まずは自分が地域行事に参加して、楽しかったことを周囲に伝えたい
- ★困っている人に声をかけられる住民・地域でありたい
- ★子ども食堂や保護者の居場所づくりをしています
- ★スーパーが遠いので、買い物支援を試みたい

東圏域(柴刈校区)



- ★若い人が移住できるような「魅力的なまち」
- ★野菜マルシェや屋台村のような「イベント開催」
- ★地域性を活かした、「農業体験」「農家宿泊体験」
- ★何もないけど、「人にやさしい地域」をめざしたい

西圏域(青木校区)



- ★今回のような集まり、意見交換ができる場を継続したい
- ★人口倍増計画!若い人が住みたいと思えるまちにしたい
- ★都市部からの観光、宿泊促進(農家の美味しいご飯を提供)
- ★「楽しいこと」から「一人でもできるような小さなことから始める」

南圏域(高良内校区)



- ★世代を超えた交流の場がある地域にしたい
- ★名人がいるため、習い事の先生になってほしい
- ★スクールバスやコミュニティバスをつくりたい
- ★eスポーツ大会を開催したい

北圏域(宮ノ陣校区)



- ★校区の至る所にだれでも出入り自由な「居場所」をつくりたい
- ★あいさつが自然にできるまちにしたい
- ★地域を知る講座をしたい
- ★年齢に関係なく、絆の大切さをもっている